

県・市の連携について

問 県・市の連携のうち、特に新庁舎建設について伺いたい。県の庁舎と市の庁舎を一緒に建設することを、県と一緒に協議する可能性はあるのかなのか、考えを聞きたい。

答 建物の老朽化、庁舎の分散化等からさまざまな不都合が生じており、市庁舎建て替えの必要性は十分認識しているが、市庁舎は単に行政機能の中核のみならず、まちづくりの拠点となるのでさまざまな角度から慎重な検討が必要である。



市役所庁舎

旧三和町施設の維持管理について

問 旧三和町施設の牟田尻アパートは、合併直前の平成16年に5カ月半という短期間の突貫工事で完成させたためか、3年しか経過してないのに鉄筋コンクリートに亀裂が走り、塗装がはげていることについて、どのように対応するのか見解を伺いたい。

答 合併後、本市が行った竣工後1年目と3年目の瑕疵担保検査では、軽

微な手直しはあったが建物構造上の問題となる瑕疵はなかった。なお、手直し工事は3月末には完了の予定である。



牟田尻アパート

自民明政クラブ

職員給与のあり方について

問 逼迫する本市財政の中で、職員の給与見直しを組合に提案したとのことだが、給料表は国と同じものに見直すのか、また、特殊勤務手当の見直しも提示したのか。

答 職員の給料表については、国と同様の取り扱いに改めるよう、また、特殊勤務手当については15種類を廃止し、存続する手当についても支給要件等について国に準じたものとするよう、併せて職員組合へ提案した。

公明党

団塊世代を中心とした中高年者の就業や地域貢献の支援策について

問 団塊世代が定年を迎える時期と

なり、いわゆる2027年問題といわれているが、団塊世代が日本経済再興の原動力になる可能性が大きいと期待を寄せ、識者の声もある。就業支援や地域貢献の場の提供などをどう考えるか。

答 現在行っている就業や地域貢献の活動についての支援策は、団塊世代に特化したものではないので、窓口が分散し利用者側からは分かりにくい面もある。今後は、情報が入手しやすく、利用しやすい環境の整備に努めたい。



市民活動センター開設予定施設

バス空白地帯について

問 仁田・佐古地区での市長との地域懇談会で、通称丸山線における乗合タクシーの要望が自治会から出された。地域住民は一刻も早く生活の足が必要との思いが強いが、乗合タクシー運行実現のための必要条件は何か。

答 地域の居住人口規模、道路の状況、高齢化率、住民の利用意向等を踏まえ、優先度



丸山線

日本共産党

合併町の将来の地域振興策について

問 合併町のまちづくりについては市の押し付けでなく、各町の住民の願いが込められた特色ある施策がそれぞれ必要である。そのためには、地域自治区のような組織が必要ではないか。

答 合併地区においては、地域の総合窓口である行政センターが中心となつて引き続き地域住民の意見、要望等の把握に努めるとともに、必要な部分については行政の基盤整備も考えながら地域振興を図っていききたい。



虹色のまちづくりミーティング

気走会

教育委員会の活性化について

問 学校敷地内の教職員駐車場の有